

CASBEE Sapporo2014v1.2
北海道大学総合研究棟(工学系)

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
	A	B	C	D	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体		
配慮項目					評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									3.3
Q1 室内環境						0.40	-	-	2.9
1 音環境					3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 騒音					3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音					3.6	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能	二重サッシ				5.0	0.30	5.0	-	
2 界壁遮音性能					3.0	0.30	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	0.20	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	0.20	3.0	-	
1.3 吸音					3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境					2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御					3.0	0.50	-	-	
1 室温					3.0	0.60	3.0	-	
2 外皮性能	A				3.0	0.40	5.0	-	
3 ゾーン別制御性					3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	4.0	-	
2.3 空調方式					3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境					3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用					3.0	0.30	-	-	
1 昼光率					3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口					-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備	A				3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策					3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御	A				3.0	1.00	3.0	-	
2 障り基盤対策					-	-	-	-	
3.3 照度					3.0	0.15	5.0	-	
3.4 照明制御					3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境					3.3	0.25	-	-	3.3
4.1 発生源対策					4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆品の使用				4.0	1.00	5.0	-	
2 化学汚染物質					-	-	-	-	
4.2 換気					2.3	0.30	-	-	
1 換気量					1.0	0.33	5.0	-	
2 自然換気性能					3.0	0.33	5.0	-	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.33	5.0	-	
4.3 運用管理					3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視					3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御					3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.3
1 機能性					3.1	0.40	-	-	3.1
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性					3.0	-	5.0	-	
2 高度情報通信設備対応					3.0	-	5.0	-	
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観					3.0	0.50	3.0	-	
2 リフレッシュスペース					3.0	-	-	-	
3 内装計画					3.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理					3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	低汚染性外壁塗材の使用				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-	
3 維持管理業務					-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震					3.8	0.50	-	-	
1 耐震性	建築基準法による耐震性能基準の1.25倍を確保				4.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	B				3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	B				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	B				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B				3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	B				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20	-	-	
3 電気設備					1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.9	0.30	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり					4.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高3.8mを確保				4.0	0.60	5.0	-	
2 空間の形状・自由さ	階段際、外壁に耐震壁をまとめて、フレキシブルな空間を構成				4.0	0.40	5.0	-	
3.2 荷重のゆとり	実験機器に対応したゆとりある計画				5.0	0.30	5.0	-	
3.3 設備の更新性					3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	

CASBEE Sapporo2014v1.2 北海道大学総合研究棟(工学系)		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)						
スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
		A	B	C	D	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体		
配慮項目						評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出			C			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		校内全体で景観形成に寄与	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮						3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D	校内に広大な緑地を確保	4.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		A			外断熱工法、二重サッシによる高断熱化	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		A			廊下端部に開閉窓、階段塔屋に換気窓を設置	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 0.91 住宅(専有部) -	3.0	0.50	-	-	3.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		A				3.0	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)		A				-	-	-	-	-
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング		A				3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		A				3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価						-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		A				-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		A				-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					節水型衛生器具の使用	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減						3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減		B				2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B				3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			ロックウール化吸音板、内外装床タイル、タイルカーペット	5.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			廊下天井現しとした設備改修し易い計画	5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用					指定有害部室を含まない接着剤を使用	5.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避						2.6	0.70	-	-	-
1 消火剤		B			不活性ガス消火剤の使用	4.0	0.33	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		B				2.0	0.33	-	-	-
3 冷媒		B				2.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		B				5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮						3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		B				2.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制					校内に十分な駐車スペースを確保	5.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	廃棄物の適切な管理	4.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮						2.3	0.33	-	-	2.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						-	-	-	-	-
1 騒音						-	-	-	-	-
2 振動						-	-	-	-	-
3 悪臭						-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						1.6	0.67	-	-	-
1 風害の抑制						1.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制						3.7	0.33	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					屋外広告灯を設置していない	4.0	0.70	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	-